

平成28年度  
飯南町総合振興計画等評価委員会  
報告書

平成28年8月24日開催  
飯南町総合振興計画等評価委員会

## 1 はじめに

平成 27 年度中には「第 2 次飯南町総合振興計画」「飯南町総合戦略」（以下「飯南町総合振興計画等」という。）が策定され、町民・地域団体・行政の基本となる姿勢として基本理念を「小さな田舎からの『生命地域』宣言」、目指すべき将来像として「笑顔あふれるまち飯南町」と定められました。

飯南町においては、人口減少が急速に進行しており、町の存続まで危ぶまれる状況と試算されていますが、美しい自然と歴史ある伝統・文化を次世代に残していくためには住民と行政が一丸となって取組みを推進していく必要があります。

この度の飯南町総合振興計画等評価委員会では、飯南町総合振興計画等に掲げる政策・施策の推進と目標指標を実現するため、平成 27 年度中に実施した直接的な効果を期待する 37 事業に対する評価について担当課評価結果と評価委員会結果（2 次評価）まで実施し、取りまとめたものです。

この評価報告書を基に、住民と企業・団体・行政が一丸となり、協働しまちづくりが進められるように政策・施策の検討資料としてご活用いただきますようお願いいたします。

## 2 評価の目的

飯南町総合振興計画等評価委員会設置要綱の規定により、飯南町の進むべき将来像及びそれを実現するための指針として策定した総合振興計画ならびにまち・ひと・しごと創生法に基づき策定した飯南町総合戦略の達成、進捗状況等について評価を行い、住民と行政が協働し、地域の特性にあった個性豊かで住民が真に暮らしやすいまちづくりを推進するため評価委員会を設置し、飯南町を取り巻く現状と課題の把握と総合振興計画・総合戦略の達成、進捗状況の評価を行います。

## 3 評価の方法

飯南町総合振興計画等の目標指標・目標数値の達成のために取り組む事業（全 37 事業）を選定し、飯南町役場担当課にて「進捗管理シート（別紙参照）」の作成をしました。このシートでは、事業概要・実施内容・評価・改善という PDCA での各過程を記載し、自己評価を基に評価委員にて 2 次評価する手法を行っています。

評価委員会では、進捗管理シートを基に各課担当者より事業の説明を受け、委員より質疑応答・意見交換を基に評価をしております。

評価のポイントとしては、成果・達成状況と事業の必要性・有効性・効率性と今後の方向性について検討し評価しています。

なお、評価の結果は、次の 5 段階とし、それぞれに委員のコメント等を添えました。

- A：極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B：想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C：想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D：想定する効果を大きく下回り、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E：効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

また、評価委員から各事業についてどのような質問があったかをあわせて報告いたします。委員からの質問は、地域住民等への事業説明など行う際の参考となると考えております。

## 4 評価の結果

### (1) 一次評価

事業の所管課による自己評価

《評価結果》

所管課評価

5段階評価	事業数	割合	備考
A	9	24.3%	
B	16	43.3%	
C	11	29.7%	
D	1	2.7%	
E			
合計	37	100%	

### (2) 二次評価

#### ア 評価委員による総評

所管課の評価について、AまたはBでの評価をしている事業は、直接的な投資や既に継続的に実施している事業が多く、数値的にも効果がみられる状況でした。また地域のニーズをくみ取り、地域住民や企業等関係者と連携し進めているため評価が高くなっていると思われれます。

C以下での分析では、人力的要因（募集しても集まらない）、物理的要因（事業展開する体制整備）、金銭的要因（当初想定よりも高額）などの理由があり、早期に対策できない状況が見受けられました。社会情勢の状況による事ではありますが、その中でも改善できるポイントを挙げており、事業推進を行われています。

飯南町総合振興計画等の最終目標数値達成には、より強力で推進していく必要があります。福祉医療など町全体をまんべんなく推進しなければならない事業もありますが、産業施策などは、ポイントを絞り集中した事業展開により、一つ一つを確実に形にしていくことが必要です。また、類似する施策が各課にわたって推進されている状

況もありました。国や県など、制度の関係上の振り分けかと思いますが、地域住民の利便性を考慮し施策の配置をご検討ください。

以下からは、事業ごとに評価を行い、委員からの意見等を記載します。

## イ 評価委員からの意見等

※施策番号 「振＝飯南町総合振興計画」「戦＝飯南町総合戦略」

### ① 第1部会 産業・自然環境

事業名	主管課 評価	委員 評価	コメント・質問等
振 3-1、戦 3-1・3-2 園芸振興対策事業	B	A:0 B:2 C:2 D:1 E:0	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ i まるシェの年間売り上げが 1,500 万円では失敗である。要因分析をして方向転換や撤退など今後を検討すべき。</li> <li>・ 果樹アドバイザーは今後も継続すべきである。</li> <li>・ 時期ごとに同じ産品があふれている。農家にお任せでなく、年間作物の生産計画をする必要があるのでは。</li> <li>・ 園芸振興はより強力に進めていくべきである。</li> <li>・ 販売戦略がしっかりできているか疑問である。その点を明確に。</li> <li>・ 作物を数品種選び、「飯南ブランド」として確立させ、全国発信できるように構築すべき。</li> </ul> <hr/> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぶなの里のレジシステムとは。 ☆ J A しまねのシステムに合わなくなったためレジポスの更新を支援した。</li> <li>・ i まるシェや他の産直市の売り上げ状況は。 ☆ i まるシェ 9,441 千円、ぶなの里 58,914 千円、ぼたんの郷 24,518 千円、J A 関係 55,327 千円</li> <li>・ 販売戦略についてはどのように進めているか。 ☆ 作物によって戦略が異なる。数量が少ない物は産直市をメインに、トマト・メロン・パプリカは市場をメインに、ブドウは産直・個人販売がメインとなる。</li> </ul>

<p>振 3-1、戦 3-1・3-2 森林セラピー推進事業</p>	<p>C</p>	<p>A:0 B:0 C:1 D:4 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もりのすの周辺環境整備ができていない。荒れている。出来ないのであれば指定管理料を減額し町ですべき。</li> <li>・水遊びができる所を活用し、保育所、小学校への利用を進めていけばと思う。</li> <li>・都会の方により周知し、県外の利用者呼び込んでほしい。利用者増の取組みが不十分。</li> <li>・目標の下方修正は事業の中止を意味する。見直しが必要では。</li> <li>・町内利用を待受けではなく、町民への啓発として自治会ごとに招待するぐらいしてもよい。</li> <li>・観光協会とCATVによる飯南町PRは良い。継続と共に森林セラピーも行っては。</li> <li>・ヤマメの放流などをし、魚が見える環境をつくるのも必要。この自然感が魅力となる。</li> <li>・森林セラピー利用者を直接考えるのではなく、飯南町ふるさと森の環境の良さをPRし集客する。その一つが森林セラピーであり、一度体験をしたら大変良かったというシナリオを考えたらどうか。</li> </ul> <hr/> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績数値は森林セラピーの利用者のみか。 ☆森林セラピー利用者だけの数値である。</li> </ul>
<p>※担い手育成総合支援事業、青年就農給付金をあわせて評価</p> <p>振 3-2、戦 3-1・3-3 担い手育成総合支援事業</p>	<p>A</p>	<p>A:1 B:1 C:3 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政のAは甘すぎる。</li> <li>・将来の農業後継者確保に向けて引き続き強力に進めるべき。</li> <li>・新規就農は2～3年で自立は難しい。認定農業者・法人数の数でなく、一人でも多く自立するため支援する事を目標にしては。</li> <li>・新規就農者は、農業法人への就職からスタートさせるのが安心では。個人で0スタートは資金確保から難しい。結局はバイトしながらとなり定着しない。</li> <li>・JAも巻き込んで、販売戦略の提供協力が必要。</li> <li>・上赤名 中野さんをモデルとして、成功をさせ、JAとの連携を考えて、とりあえずやってみる事が必要。</li> </ul> <hr/> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者のみを対象とした事業なのか。 ☆既存の農家が新規にて取組む事も対象となる。</li> </ul>
			<p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者のみを対象とした事業なのか。 ☆既存の農家が新規にて取組む事も対象となる。</li> </ul>

振 3-2、戦 3-1、3-3 青年就農給付金	A	A:2 B:1 C:2 D:0 E:0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田舎暮らしを求める方に町の支援をするのは趣旨が違うのではないか。</li> <li>☆定住では、県の認定を受けた方でしか支援出来ない仕組みになっている。単純な田舎暮らしの方は支援していない。飯南町は県の事業にプラスした支援を行っている。</li> </ul>
振 3-2、戦 3-1、3-3 リースハウス団地整備事業	A	A:1 B:3 C:1 D:0 E:0	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修から施設整備、農地確保をし就農するまでの一連のシステムを組み立てる事が必要。</li> <li>・パイプハウスリースは町と契約し、土地は地主との利用権設定では問題がある。土地も町が借りて、土地とハウスをまとめてリースしては(町は土地を法律上借りることができないため、一本化する仕組みの構築が必要)</li> <li>・現在農家で使われていない、処分に困っているハウスを譲り受けて再利用する方法は。移転費・建設費を助成する仕組みもあるのでは。</li> </ul>
振 3-3、戦 3-2 観光振興対策総合支援事業（観光協会運営事業）	B	A:0 B:2 C:3 D:0 E:0	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンドの動向に注意が必要と思う。爆買いも終わってきている。</li> <li>・予算に見合った効果が出るよう期待します。</li> <li>・夏、冬の土地柄を考えて計画的にPRすべき。</li> <li>・観光はブームがありそうなので、続々とイベントを出してほしい。</li> <li>・琴引フォレストパークに台湾旅行者がいた。雪をみて大変喜んでいて。島根の旅行を組んでいる旅行会社に飯南町を経由してという提案は良い。</li> <li>・スキー場の夏場の活用を検討してほしい。ジャズフェスタなどイベントなど。</li> <li>・観光拠点の整備、観光ルートの確立（ガイド方法も含めて）、年間のイベントの確立をし、情報発信を。</li> <li>・海外渡航者を受け入れるなら英語能力とコミュニケーション能力を高める環境づくりを進める必要がある。</li> </ul>
振 3-3、戦 2-1 ふるさと応援寄附促進事業	B	A:1 B:3 C:1 D:0 E:0	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飯南町の旅行を商品にしては。</li> <li>・牛肉、米を更に強化しては。</li> <li>・お礼の品にマンネリ化は無いかな。</li> <li>・ブームもあると思うが、引き続き進めてほしい。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リピーター対策が重要であり、寄附金の活用報告とあわせて情報発信を。</li> <li>・項目別に集まった寄付金の使用実績と効果をHPで分かるようにできないか。ピアノを購入した→子ども達を使用した→発表会など出場するようになったなど。効果が見えるとリピーターに繋がると思う。</li> </ul> <hr/> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税の寄附はどの程度残るのか。 ☆お礼の品が約半分となる。1億円なら5千万円となる。</li> <li>・熊本の震災により今年は低調と聞くが、近隣市町も低調な状況なのか。 ☆昨年との対比では、1～3月の納付額は変わらないが、4月からの伸びが無い状況となっている。理由として、熊本震災により九州地方への応援寄附が想定される。近隣市町担当者に調査したところ、同じような傾向となっているが、1市のみは伸びている所もある。理由として、新商品が生まれ商品のリニューアルなどされている。当町では新商品は生まれていないが、提示できる商品の再調査と、PR強化とともに、産業振興課や商工会と連携し、新商品・新産業が生まれる体制を整備していきたい。</li> </ul>
<p>振3-4、戦3-3 定住等総合支援事業 (創業支援・ビジネスコンテスト等)</p>	<p>B</p>	<p>A:0 B:4 C:0 D:1 E:0</p> <p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援後、事業者の事業継続についても注視してほしい。必要があれば支援策も検討。</li> <li>・創業後の経営チェック・指導が必要である。</li> <li>・飯南町で起業するメリット(災害が少ない事もメリット)を出してほしい。</li> <li>・キャビアの生産、ウナギの稚魚の養殖は創業できないか。近畿大学水産学部教授に赤名出身者がいる。</li> </ul> <hr/> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町外者の企業支援について ☆町内にて事業展開をすることが目的のため、町外者も該当する事業だが、飯南町や周辺環境を知っている方が起業しやすいと考えているため、町内の団体による提案をより支援したいと考えている。</li> </ul>

<p>振 6-1 町行、町有林等造林 事業</p>	<p>B</p>	<p>A:0 B:5 C:0 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に沿って進めるのは良いが、計画のビジョンを町民に出すように。</li> <li>・化石燃料を自然エネルギーに変えるなどという目標数値が必要ではと思う。施業面積の目標では総合振興計画に掲げる、住民主体という身近な計画にならない。</li> </ul> <hr/> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造林は材の収入に繋がる事業なのか。 ☆材価格は低い状況ではあるが、総合振興計画では環境維持・水源涵養・災害防止という環境保全として掲げている。</li> <li>・バイオマスセンターの役割は。 ☆材をお金にしていこうという取組みと農林畜産の循環型農業の推進の機能を持っている。</li> </ul>
<p>振 6-1 清掃総務経常管理費</p>	<p>B</p>	<p>A:0 B:4 C:1 D:0 E:0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの散乱防止は町民への啓発が必要。</li> </ul>

② 第2部会 保健・福祉・教育・文化

事業名	主管課 評価	委員 評価	コメント
振2-1、戦1-3 子ども子育て支援対策事業	B	A:0 B:2 C:3 D:0 E:0	<コメント> ・夏休み居場所づくりや、すこやかなど類似する事業の担当課が別になっている。子どもを預ける、預かるに関する施策は担当課を一つにして、より利用しやすさを追求すべきでは。 ・ファミリーサポートセンター事業は、PRが必要。連携のため学校にも事業を周知すること。 ・児童クラブは、8:30～17:00であり共働きの家庭では送迎が難しい。時間の延長が必要では。スタッフのシフト調整・交代制などで対応できないか。19:30まで預かれないか。 ・総合振興計画では、総合スポーツ計画もあり、学校が終わってから子どもを預ける機能だけではなく、スポーツをして預ける、塾に行き預けるなどすればスタッフ雇用の問題も解消できるのでは。 ・サポートする方が少ない。受け入れ態勢の整備をする必要がある。 ----- <質問等> ・ファミリーサポートセンターとはなにか。 ☆小学校6年生までを対象に、小学校・保育所をやっていないときに預かる事業。登録している地域のボランティアにより来島保健センターや自宅などで預かる。 ・ファミリーサポートセンターでは預かっている間何をしているのか。 ☆基本的には見ているのみ。一緒に遊ぶ感じである。利用者が仕事等に行かなければならない状況時に預かるというセイフティネットのような形となっている。
振2-1、戦1-3 育児等健康支援事業	C	A:1 B:3 C:1 D:0 E:0	<コメント> ・不妊治療には多胎児の可能性もあり、その後の支援や対策も必要ではと思われる。 ・フッ素塗布は良い事業。各家庭で行くのは大変であるし、友達と一緒にやるため嫌がらない。保育所からの塗布した連絡も有り助かる。

<p>振 2-1、戦 1-3 子ども等医療費助成 事業</p>	<p>A</p>	<p>A:4 B:1 C:0 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科は、医療費が無料だが治療に行かない状況がある。治療に行く対策も検討できないか。</li> <li>・頓原小中学校は、病院が近く、学校が終わってから一人でも行けるが、その他の小中校は一人では行けない。生活路線バスなどの活用と共に検討出来ないか。</li> <li>・この事業は、継続して行うべき。早期発見・早期治療に結びつける対策もあわせていくべき。</li> </ul> <hr/> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町外の場合、島根県内なら無料で対応できるのか。</li> <li>☆県内すべての医療機関と契約をしていないため、県内でも医療費を支払わなければならない所がある。支払った場合、保健福祉課に提出してもらえばその分を助成する。</li> </ul>
<p>振 2-1、戦 1-3 保育料軽減事業</p>	<p>A</p>	<p>A:5 B:0 C:0 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3子以上の家族増加には、第2子から全額免除になると一層効果が出ないか。</li> <li>・第1子から無料にならないか（年間1千2百万円必要と聞く）。外部から移住者が増えるのでは。</li> <li>・子育てしやすい環境づくりに繋がっている。UIターンによる人口増加に結び付くよう期待する。</li> </ul> <hr/> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3子は、すべて保育所に行っていないと該当しないのか。</li> <li>☆今は保育所に3人いなくても良い。その家族で3人目の子どもであれば無料となる。</li> </ul>

<p>※出会い創造事業、少子化対策総合支援事業をあわせて評価</p> <p>振 2-1、戦 1-1・1-2 出会い創出事業</p>	<p>B</p>	<p>A:0 B:2 C:3 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「婚活」という言葉は、即結婚というイメージになり参加しにくい。まずは交流が目的で。</li> <li>・地元の男性のみ、女性のみというイベントの組み方も必要では。</li> <li>・イベント的にすると、その場の雰囲気付き合ったりし、長続きしない。婚活ではなく交流など違う形が良いかと思う。</li> <li>・婚活の参加は抵抗がある。婚活のためにいろいろ参加している事を知られたくない。町内にこだわらず町外での実施などを検討されては。また参加者が分からないように配慮を。</li> <li>・これから期待できる事業。縁結び支援員の活躍を期待する。</li> </ul>
<p>振 2-1、戦 1-1・1-2 少子化対策総合支援事業</p>	<p>C</p>	<p>A:0 B:0 C:5 D:0 E:0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集まりにくいという状況はあるものの、出会いの機会は多く合ったほうが良い。具体的なアクションがスタートしており、評価できる。</li> <li>・徐々に体制も整っている。交流の輪を広げるイベントを継続的に進める事が重要である。</li> <li>・婚活イベントで成婚した副賞を検討しては。赤穴八幡宮にて結婚式・憩いの郷衣掛で披露宴の支援をするなど。</li> <li>・参加者、世話役など個人情報の取扱いに注意し、守秘義務をしっかりと行って欲しい。</li> </ul>

<p>※飯南高校教育支援事業、学習支援館運営事業をあわせて評価</p> <p>振 2-2、戦 4-2 飯南高校教育支援事業</p>	<p>A</p>	<p>A:3 B:2 C:0 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職を考えたとき、ペーパー試験、面接・プレゼンという流れが多い。試験で勝つ力を身に付けてほしい。</li> <li>・保小中高一貫教育の集大成が資格取得に繋がる仕組みが必要。履歴書に書ける内容（観光英語検定、TOEIC など）</li> <li>・学校の質が高くないと、町内の子も入学しなくなる。飯南高校を存続させるために町内の子どもがいるわけでないため今後も推進を。</li> <li>・国公立への進学率アップが課題と思う。</li> <li>・生徒を集めることが目的にならないようにし、卒業した後に飯南町に寄与する形ができないと先が無くなる。将来飯南に住みたい、応援したいという気持ちにさせる対策を。</li> <li>・保小中高一貫教育は、子どもたちを保護しすぎて将来競争について行けなくなるのではと心配。過保護にならないように注意してほしい。</li> <li>・社会のニーズと学校の差をなくすため、町内町外者、県外者との交流を拡大する必要がある。</li> <li>・小学校6年間での教育で挫折しなければ、中学、高校になっても学力があがると聞く。この時期の教育もしっかりと考えてほしい。</li> </ul>
<p>振 2-2、戦 4-2 学習支援館運営事業</p>	<p>C</p>	<p>A:1 B:2 C:2 D:0 E:0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯南町は、音楽教室・そろばん・水泳・スポーツがあり、後は塾があると人が来るかと思う。家賃も安く、医療費もかからない。進学率が上がれば出雲や松江で学ぶ必要がない。良い環境になりつつある。</li> <li>・生徒が少ないため、個人スポーツの導入も検討しては。ボルダリング、弓道、アーチェリーなど</li> <li>・小学生にも支援塾の設置はどうか。この時期の学力向上が中高に影響する。</li> <li>・色々な職業、スポーツ、文化等で活躍する方との交流で子どもの可能性を広げる環境づくりが必要。宇宙航空研究開発機構など学校に出向き講演を開いている。</li> <li>・東京等の学習塾との連携によるテレビ授業などの導入で都市に負けない学習方法はどうか。</li> <li>・子どもからシニアまで国際感覚を養う組織、支援窓口が必要と思う。島根 AJET、自治体国際化協会、JICA、ワーキングホリデー制度など相談を受ける窓口など。</li> </ul>

<p>振 2-5 特定事業主行動計画</p>	<p>C</p>	<p>A:1 B:0 C:4 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員等、女性の活躍が大事である。女性の起用をより一層取り組んでいただきたい。</li> <li>・行政の主催する会議等の女性参加は近年多くなってきていると思う。</li> </ul>
<p>振 4-1、戦 4-1 保健衛生総務経常管理費</p>	<p>C</p>	<p>A:0 B:0 C:5 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診など個人のプライバシーが保護されるよう十分注意してほしい。</li> </ul>
<p>振 4-2、戦 4-1 医療従事者確保対策事業・定住等総合支援事業</p>	<p>B</p>	<p>A:1 B:3 C:1 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師不足（特に福祉施設）の解消に注力をしてほしい。</li> <li>・助成を受けている学生には大変期待します。</li> <li>・医療従事者の増加は、安心して暮らせる飯南町のアピールにも繋がるため、今後もより良く検討しながら推進してほしい。</li> <li>・医療は厳しい職種である。子育て世代の看護士・福祉士などはさらに大変である。人材確保に尽力を。</li> <li>・総合戦略にある、町が看護師等を確保し、派遣する事業がある。これを進めてほしい。</li> <li>・介護福祉士の応募が無いのは残念。別途策が必要では。</li> </ul> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成して戻ってこなかったらどうなるのか。 ☆戻ってこられたら助成金を返さなくてよい。帰ってこられなければ返してもらおう。医師ならば助成した年×3を目途に戻ってくるのが条件。また助成した期間分は飯南町で勤務していただく内容になっている。</li> </ul>
<p>振 4-3 地域包括支援センター運営事業</p>	<p>A</p>	<p>A:2 B:3 C:0 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加される方の偏りが見受けられる。その対策を。</li> <li>・総合事業への移行について、より詳しく町民に説明と周知をお願いする。</li> <li>・相談する窓口は、赤来側なら来島診療所、頓原側は飯南病院などそこに行けば何とかなるといふ拠点が必要。分散化しないようにしてほしい。</li> <li>・きめ細やかな対応がされている。認知症対策については結果が数字的にも出るよう期待する。</li> </ul>

<p>振 4-3 来島福祉総合相談窓 口事業</p>	<p>B</p>	<p>A:1 B:2 C:2 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤来地域へのPRをより強化すべき。</li> <li>・施設が分散しているため、将来的には来島Aコープあたりに機能集約してはと思う。</li> <li>・相談件数を多くするのではなく、住民が自立し、相談が少なくなる方が目標ではと思われる。</li> <li>・相談件数がもっと上がってほしい。ランチのPRをもっと強化すべき。</li> </ul>
<p>振 4-3 生活困窮者自立相談 支援事業</p>	<p>C</p>	<p>A:1 B:0 C:4 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口があるというPRも必要だが、自立に向けた支援が必要。</li> <li>・目標事項として、周知は強化して、相談件数（困窮者数）は下がっていくのが本来の目的かと思う。</li> <li>・この制度があることを知らなかった。住民への周知をお願いする。</li> </ul>
<p>振 4-4 障がい者地域生活支 援事業</p>	<p>C</p>	<p>A:1 B:1 C:3 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の状況やスタッフなど、もう少し制度の周知をした方が良い。</li> <li>・今後のニーズを調査しつつではあるが、障がい者に対する共同生活施設などは、今のところ新規では必要ないと思われる。</li> </ul>

③ 第3部会 自治・協働・生活環境・定住

事業名	主管課 評価	委員 評価	コメント
振 1-1、戦 2-2 地域振興臨時管理費 (新春対談等)	A	A:4 B:2 C:1 D:0 E:0	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飯南町のPRにはつながった。反響もあった。しかし継続する必要があるかは分からない。</li> <li>・広告と違い地方創生の取組みとしてコンクールにも出した結果、その後もPRになっている。</li> <li>・今後の2次活用にも使用でき、情報効果が期待できる。</li> </ul>
振 1-1・1-5、戦 2-2 住みよい地域創造事業	B	A:3 B:2 C:2 D:0 E:0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の力の差が効果の差に大きく反映している。地力のない地域には手厚い支援が無いと格差が生じると思う。今後、支援人材の配置など必要と考える。</li> <li>・公民館単位であり、当事者意識が高く、中身の濃い政策であった。各地区の課題も自ら把握しており、今後もフォローをすべきと考える。</li> <li>・報告会に参加したが、志々・頓原・谷は住民に行きわたった取組みと感じたが、その他の地区はどうか。各地区で温度差があったのではと感じる。</li> <li>・地域に中心となる人がいるか、会議・協議の進め方、事業の進め方の技術によって差が出てくる。各地域に合わせた支援が必要になってくると考える。</li> <li>・報告会は急に開催を決めるなどせず、スケジュールを定めて進めるべき。</li> <li>・地域に網羅的に補助金を出すのは少ない中、大きな効果が出たのはレアケースである。事業効果がある地区は、外部の公募型補助事業に挑戦など発展させては。</li> </ul>
振 1-1・1-5、戦 2-2 国道 54 号活性化事業	B	A:1 B:5 C:1 D:0 E:0	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道沿いの景観づくりに力をいれていくべき。</li> <li>・事業の参加者による独自の動きも発生しつつある。急いで結果を求めず、町民自身が問題意識を持ち、自ら地域づくりに関われるような動きになればと思う。</li> <li>・高速開通で交通量が減ったが、本来の来訪者数が浮かび上がり、これからどのように変化があるのかで効果が測れる事業である。</li> <li>・54号の景観にも目を向けてほしい。花を植えるのもあるが、立木処理などを行って欲しい。</li> <li>・道路交通対策か、観光交流事業か、また2輪車対策事業か、道路整備事業なのか手段や目的を明確にした方</li> </ul>

			<p>が良い。目的が広くなりすぎて特徴がない。</p> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振興計画では、この事業を見直すと記載してあったが、既に見直しを行ったのか。</li> <li>☆見直しを行って進めている。</li> </ul>
<p>振 5-1、戦 2-2 定住等総合支援事業 (三十路式)</p>	C	<p>A:2 B:4 C:1 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出身者会との連携も必要だが、出身者会の若返りとUターン施策強化の連携が必要である。</li> <li>・三十路式は活気のある会となっていた。Uターンや結婚へのきっかけとなる。続けてほしい。</li> <li>・初めての取組みで 50%の参加状況と定住の相談が生まれるなど効果があった。有志による実行委員会ができたのも大変良い。</li> <li>・もう少し高い年代でもよいのでは。40 歳でも独身者はおり、同窓会で結婚した方もいる。</li> <li>・会を実施し、参加者数以外の成果目標を設定し進める必要があると思われる。Uターン者数などその後の効果が出せるように。</li> </ul> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出身者会との連携はできないのか。若い方と連絡しあい情報発信はできないのか。</li> <li>☆出身者会は高齢化しており、若い方が少ない。若い方の加入を進めている。</li> <li>・出身者会は、設立当時は行政・商工会・地域など幅広く参画していたが、今は行政のみとなった。再度広く呼び掛けてすすめてみては。</li> </ul>
<p>振 5-1、戦 2-1・2-3 定住促進住宅整備事業</p>	B	<p>A:1 B:6 C:0 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住住宅をこれから整備する際、田舎暮らしを満喫したり、地域にお金が落ちる仕組みを作ることが必要。</li> <li>・団地の整備が頓原小の児童増に直接つながっている。全国的にも評価が高く、職員の努力を評価したい。</li> <li>・1 ヶ月 4 万円が大変な所もあるので、支払プランを複数用意してはと思う (30 年コースなど)</li> <li>・入居後、直さないといけない事があった。しっかりと作るよう施工業者に伝えてほしい。</li> </ul> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の導入時には既に建てられて住んでいる方がいるが、優遇の差がでて不満はでなかったか。</li> </ul>

			☆不満はでている。行き過ぎた制度かという思いもあるが進めることにした。実施して成果は出ている。
振 5-1、戦 2-1・2-3 定住等総合支援事業・定住促進対策事業	B	A:1 B:5 C:1 D:0 E:0	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・U I ターンが飯南に来た後に、出ていく方もいる。定住できなくなる要因を分析して対応策を検討すべき。</li> <li>・住みたい田舎ランキングに入っているのは、職員の対応の良さがあると思う。</li> <li>・見学に来られた方と地域住民と話ができる配慮を行っているのは大変良い。</li> <li>・U I ターン施策で人口拡大をと思うのであれば、やり過ぎるぐらいやるのが良い。今は力を入れている所を印象付ける時期だと考える。</li> <li>・定住する地の地域住民（自治会等）の対応が重要である。地域が厚く迎える雰囲気や仕組みづくりを。</li> </ul>
振 5-2、戦 4-3 飯南町地域公共交通網形成計画策定	B	A:1 B:4 C:1 D:1 E:0	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に運行すると問題が出ると思う。1年単位で改善でなく、より短いスパンで見直し、常に改善していく形が必要だと思う。</li> <li>・飯南町に合う方法を検討しながら進めてほしい。</li> <li>・地域にあったやり方を探し、これから始まる施策でもあり期待できる。</li> <li>・まずは試行させ、問題点があれば地域と連携して改善を進めてほしい。</li> <li>・タクシーの割引などの支援や、白タク認証制度など同時に検討を。町内業者を活用する事も必要と思う。</li> </ul> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通弱者の対策は必要だが、近所の方をお願いしている方も多いのではと思うが、多額の予算をかけてやるのは厳しいのでは。</li> </ul> <p>☆今は助け合いで何とかなる事もあるが、5年後10年後を考えた際に、助け合いが成り立たない事も想定して組み立てている。</p>
振 5-2 住宅店舗等リフォーム等助成事業（浄化槽・下水処理接続）	C	A:0 B:0 C:7 D:0 E:0	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組みの効果をより明確化した方が良い。生活改善では漠然としている。定住や環境などにどのように繋がるなど目的を明確にしては。</li> <li>・ユーザーの声を聞いて事業を進めては。</li> </ul>

<p>振 5-2 国土調査事業（境界 測量・GIS）</p>	<p>B</p>	<p>A:0 B:7 C:0 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>境界線は森の手入れ、町の景観に関わるため、引き続きしっかりと事業を進めてほしい。</li> <li>空き家の関係も分かるようにすれば活用される。</li> <li>境界線が分からないと森林整備もできない事もあり、早期に進めてほしい。</li> </ul> <hr/> <p>&lt;質問等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国土調査を行う意味は。</li> <li>☆現在江戸時代から続く図面で管理しているが、これを現代の技術で明確にし、所有者も行政も管理しやすくするためである。</li> <li>空き家を民泊やツーリズム、古民家カフェなどしている所があるが、飯南町は支援制度があるか。</li> <li>☆民泊やツーリズムに活用する施策はある。カフェなどの支援はしていないが検討したい。</li> </ul>
<p>振 5-2 情報通信基盤整備事業</p>	<p>D</p>	<p>A:0 B:1 C:3 D:3 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般ユーザーにはCATVにこだわらず、携帯電話の回線など、利用状況に応じた整備を検討すべき。</li> <li>課題を明確にし、専門家の意見をいれ進めてみては。</li> <li>パソコンで出来る仕事をしている方にとっては改善されると定住にもつながる。ユーザーが回線を選べるのであれば目標の修正は必要ないと思う。</li> <li>CATVはテレビの電波対策がもとで、総務省のモデル事業として導入した。その当時は、病院や在宅など双方向での活用などあったが、引き続き検討を進めてほしい。</li> </ul>
<p>振 5-3 水源の里保全緊急整備事業</p>	<p>A</p>	<p>A:3 B:3 C:1 D:0 E:0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然に逆らうような作業道づくりが見受けられる。森林保全に繋がっていると思えない。コンクリートで対処も必要だが、20～30年後のための根本の対策が必要。産業振興課と連携してほしい。</li> <li>自然環境に配慮しつつ進めてほしい。</li> </ul>
<p>振 5-4 交通安全対策協議会</p>	<p>C</p>	<p>A:0 B:4 C:3 D:0 E:0</p>	<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国道 54 号は、車やバイクでスピードを出す人が多いので注意喚起をする必要がある。</li> <li>見た目でも危ない箇所はチェックして安全対策をして欲しい。飛び出し注意などの注意喚起など</li> </ul>

<その他 全体でのコメント等>

- ・各施策について、自治会文書や広報いーなんなど周知の仕方が様々である。子育て世代や高齢者向け、企業・団体向けなどジャンルに合わせた施策を一度にわかるように整えるべき。
- ・ユニバーサルツーリズムという観光施策があり、今後杖や車いすの方が多くなる傾向にある。飯南町の施設もこの方々にあうような作りを検討されてはと思われる。
- ・毎朝の有線放送について、不幸のお知らせだけではなく、今週は何名の出生がありましたなど気分が高まるような放送も考えてほしい。人口増加を町民全体で考えるきっかけになるのではと思う。
- ・飯南町総合振興計画は、飯南町のすべての上位計画であるため、また住民主体のまちづくりが目標となるため、住民への周知と共に、行政でも「総合振興計画の基本施策である〇〇を推進するため」など、計画に沿った取り組みであることを伝えつつ事業の説明を行って欲しい。

## 5 評価委員による見直しに係る提言

より一層効果的な評価を行うために、下記の点について提言いたします。

### ①新しい成果指数の追加

総合振興計画は、住民参画のまちづくりに取り組む上で、住民と行政の共通目標となる活動の指針として制定されています。

基本施策6-2地球温暖化防止対策の推進では、特別な目標数値がありません。新エネルギーや省エネルギーの導入状況や学校・企業団体などへの啓発状況など住民の取り組みがわかる目標数値の設定が必要と思われます。

### ②進捗管理シートの構成

進捗管理シートに記載された事項だけでは、施策の規模や数量（実施数量）がなく理解する事が難しい状況であったため、年間での事業費や具体的な数量（講習会〇回、補助件数・支援件数〇件、パンフレット〇部作成など）を盛り込んだ評価の作成をお願いします。

## 6 添付資料

- ・平成28年度飯南町総合振興計画等評価委員会名簿（資料1）
- ・平成27年度国勢調査結果（一部抜粋）（資料2）
- ・地方創生先行型活用、加速化交付金申請状況（資料3）
- ・平成27年 目標値実数（資料4）
- ・進捗管理シート 第1部会、第2部会、第3部会（資料5-1、5-2、5-3）

## 7 平成 28 年度飯南町総合振興計画等評価委員会

部会	氏名	所属等	備考
委員長	赤穴 憲一	第 1 部会委員兼務	
副委員長	奥野 恵子	第 3 部会委員兼務	
第 1 部会 部会長	田部 高久	住民	
第 1 部会	赤穴 憲一	住民	
第 1 部会	門所 詠子	住民	欠席
第 1 部会	長谷川 孝志	飯南町商工会 会員	
第 1 部会	高橋 正好	下赤名ファームエンジニアリング 代表	
第 1 部会	徳永 光子	(株)山陰合同銀行赤名出張所 所長	欠席
第 1 部会	松浦 秀樹	(株)山陰合同銀行頓原出張所 所長	
第 2 部会 部会長	多久 悟史	住民	
第 2 部会	芥川 優子	住民	
第 2 部会	三島 陽子	住民	
第 2 部会	日高 敬二	住民	欠席
第 2 部会	石田 真弓	住民	欠席
第 2 部会	小野 彰	飯南町社会福祉協議会 事務局長	
第 2 部会	上田 英希	飯南町 P T A 連合会 副会長	欠席
第 2 部会	矢飼 斉	来島小学校 校長	
第 3 部会 部会長	服部 恵子	国道 5 4 号活性化アクションプラン 推進協議会	
第 3 部会	安部 順郎	住民	
第 3 部会	奥野 恵子	住民	
第 3 部会	岸 光研	住民	
第 3 部会	石川 隆	住民	
第 3 部会	高尾 雅裕	山陰中央新報社 論説委員長	
第 3 部会	有田 昭一郎	島根県中山間地域研究センター 地域研究スタッフ 主席研究員	